

「きらりと光るまちの人」
SMILE UP!

Vol.22

藤野 佑介 さん

FUJINO YUSUKE

スタジオ・スマイル会長として意欲的に活動

自身の仕事、小野田商工会議所青年部会長、10月から開催中の「スマイルハロウィンさんようおのだ2022」スタジオ・スマイル会長と何足ものわらじを履きながら、市のまちづくりに意欲的に活動する藤野さん。自身も今年初めてハロウィンイベントに参加する。「一番強く思っていることは“絶対にイベントを開催する！”という気持ちです」。ハロウィンイベント以外にも、青年部の七夕祭りなどがコロナ禍でオンラインや中止になるなど、準備をしてきた人たちが悔しい思いをしているのを間近で見てきた。色々なイベントが3年ぶりに動き出した今年、「今回はコロナ禍でも開催できるようにイベントを分散するなどバランスを考え、実行委員会から“中止”の判断はしないと決めました。イベントに携わった人たちのためにも中止をしない内容を考えて最初から決めていました。イベントは参加する側も開催する側も楽しい気持ちが一番ですよ」と笑う。藤野さんを突き動かすものは“恩返し”。「子どもの頃に友だちで行った駅前の祭りなど、誰かが開催してくれたワクワクするイベントを今度は自分がやる番です」。山口東京理科大学の学生がイベントのボランティアに参加してくれることが嬉しいと話す藤野さん。学生自身が率先して、企画するなど、若い世代の自主的な活動に期待し、力になりたいと考えている。

まちの規模にこだわらず、山陽小野田市だからこそできるイベントや魅力を伝えることが大切。「ボランティアだからやってるとか、やらないといけなからやるという考え方が一番嫌いなんです。集客だけのイベントとかじゃなくて僕らがやっている意味、地域性がある活動をしていきたいです」

Profile・山陽小野田市出身。37歳。スナップオンツールズ藤野代表。趣味は最近始めたロードバイク。長距離や風の強い中でも、漕いでいけば少しずつでも前に進んでいくところや、その日の気分でコースを選べるのが魅力。

市内各地で開催中の「スマイルハロウィンさんようおのだ」の詳細は下記のさんハロ公式サイトから。10月30日



▲ハロウィンイベントPR(JR小野田駅前)

(日)には、メインイベントをおのだサンパークで開催！



【公式サイト】

えがおがいちばん!!

★対象：小学校就学前までのお子さん

①お子さんの写真(プリントしたものまたはデジタルデータ)②お子さんの名前(ふりがな)③生年月日④年齢⑤性別⑥親の名前⑦郵便番号⑧住所⑨電話番号⑩15文字程度のコメントを記入した申込書を添えて提出(郵送、E-mailでも可)



〒756-8601 山陽小野田市役所
シティセールス課広報係 (☎ 82-1148)



よしおか はな 吉岡 羽愛ちゃん(1歳)

人見知りのない愛嬌のある子です



しぶや あや 澁谷 綺ちゃん(0か月)

お姉ちゃん達にかわいがられて、強く大きなあれ★

